

基地対策特別委員会記録  
【速報版】

令和8年4月21日開会

# 速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横浜市会

開会時刻 午前10時00分

◎ 開会宣告

- 山田一誠委員長 それでは、これより委員会を開会いたします。



◎ 委員席の指定

- 山田一誠委員長 議題に入ります前に、3月31日付で委員の所属会派の変更がございました。委員席については、名立てのとおり指定いたしますので、よろしくお願ひします。

白井(亮)	松本	渋谷	山下	伏見	横溝	山浦
副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
山田(一)						
委員長						
坂本	仁田	望月	高田	大山	古谷	長谷川(え)
副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員



- 山田一誠委員長 次に、御報告をいたします。  
過日の委員会において決定された横浜市内米軍施設に関する要望書についてです。  
根岸住宅地区に係る3月12日の日米合意を踏まえた形に修正し、3月25日、小泉進次郎防衛大臣及び大西洋平外務大臣政務官に、正副委員長に手交いたしました。  
白井副委員長、坂本副委員長、御同道ありがとうございます。



◎ 異動職員紹介(部長職以上)

- 山田一誠委員長 次に、4月1日付で職員の異動がありましたので、樹岡局長より異動職員の御紹介がございます。樹岡局長、お願ひします。
- 樹岡都市整備局長 それでは、当局の部長級以上の異動職員を紹介いたします。  
(職員紹介)



◎ 市内米軍施設の現況等について

- 山田一誠委員長 それでは、議題に入ります。  
初めに、市内米軍施設の現況等についてを議題に供します。  
なお、当局からの発言に際しましては、着座のままで結構です。  
当局の説明を求めます。
- 樹岡都市整備局長 市内米軍施設の現況等について、浦山基地対策担当部長から御説明いたしますので、よろしくお願ひいたします。
- 浦山基地対策担当部長 基地対策担当部長の浦山でございます。よろしくお願ひいたします。  
それでは、お手元の資料1、市内米軍施設の現況等についてを御覧ください。

下線で表記した事項を中心に御説明いたします。

次のページを御覧ください。

1、前回委員会の令和8年2月3日以降の主な経過でございますが、2月5日、池子横浜市分接収地返還促進金沢区民協議会が、池子住宅地区及び海軍補助施設横浜市分の返還について、陳情書を国に提出しました。

3月12日、防衛省南関東防衛局長から、米軍根岸住宅地区の返還予定について、横浜市長に報告がありました。

次のページを御覧ください。

3月25日、横浜市会基地対策特別委員会による政府要望が行われました。この件につきましては、誠にありがとうございました。

4月の17日、防衛省南関東防衛局から、北富士演習場における米軍の訓練実施に伴う瑞穂ふ頭、横浜ノー・ドックでの物資の搬出入について、本市に連絡がありました。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○ **山田一誠委員長**   ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑等に入ります。

何かございますでしょうか。

○ **古谷靖彦委員**   ありがとうございます。

3月12日の根岸住宅の返還予定が報告されたということで、喜ばしいことだと思うのですが、このことによって、その民間の地主さんたちがこのことで何か変更されることというのですかね、不利益を被ることがないような手だてをしてもらいたいのですけれども、変更される何かことがあるかないかというのを少し教えてください。

○ **浦山基地対策担当部長**   今、国のほうからは、6月30日までに返還予定ということになっておりまして、これまでの返還までは、国からの借り上げということで、借料のほうは地権者のほうに支払われておりました。

その後なのですけれども、まだ防衛省のほうで、地主さんに返すために原状回復作業というのを引き続きやっております、それにつきましては、今度借料という名目ではなくて補償費という形で、実質的に賃料払われるのですけれども、契約の更新みたいなことが行われていきます。

ただ、最終的に引渡しになりますと、そこでいわゆる国から今まで借料相当分、決定に伴うものがなくなるということが一つ状況の変化としてございます。

また、もう一つとしては、国から返されたときに、今、米軍が改変して使っていたものですから、例えば土地の境界が不明になるとか、また、原状回復につきましては、今、米軍住宅、表面に見えるものは撤去しているのですけれども、一部フェンスであるとか地下埋設物であるとか、そういったものを存置したまま地権者に引き渡されるということがございまして、こういったことが地権者の状況の変化としては考えられるところでございます。

でも、本市としましても、地権者の方がこの返還によって不利にならないように、現在も防衛省のほうと地権者共々協議しておりますけれども、横浜市のほうも地権者の立場に立って、そういった引渡しに伴う課題をしっかりサポートしていきたいと考えております。

- 古谷靖彦委員 ありがとうございます。

丁寧に対応されている様子もよく聞いているので、いいとは思っているのですが、それにしても様々な作業がたくさん出てくるんだらうなというふうになんかちょっと思っているのですが、ちょっとあまり返還して本当によかったなと思えるような地権者さんも含めて、対応にしていきたいと思います。

以上です。

- 山田一誠委員長 ほかにございますでしょうか。

(発言する者なし)

- 山田一誠委員長 他に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。

---

◇

◎ 特別委員会中間報告書（案）について

- 山田一誠委員長 次に、特別委員会中間報告書（案）についてを議題に供します。

基地対策特別委員会中間報告書案を御覧ください。

本委員会の付議事件については、引き続き検討が必要であることから、次期構成の委員会に文書にて報告を行うため、本委員会の1年間の活動経緯、議論の内容等についてまとめた委員会中間報告書案でございます。

御覧いただいております案文につきましては、正副委員長にて取りまとめいたしました。

本日はまず、この案の概要について、私から御説明をいたします。

それでは、報告書2ページを御覧ください。

本委員会の付議事件、縦2、活動内容等として、委員会活動概要を6ページにかけて記載しております。本日の委員会の概要については、委員会終了後、後ほど追記をいたします。

次に、7ページを御覧ください。

縦3、米軍施設の跡地利用の検討等についてとして、市内米軍施設に関する跡地利用の検討状況等を記載しております。

次に、縦4、委員会及び視察を通じた委員意見概要として、本年度の委員意見概要を9ページまで記載しております。こちらも先ほどと同様に、本日の委員意見を踏まえ、適宜追記いたします。

次に、10ページを御覧ください。

縦5、まとめを記載しておりますので、御説明いたします。

1段落目から4段落目にかけて、本年度の本委員会の経過、これまでの本市の米軍基地をめぐる情勢及び本市が抱える課題等を記載しています。

要点となる部分に下線を引かせていただいておりますので読み上げいたします。

返還跡地は、横浜市内残された貴重な資源であることから、立地特性等を生かし、地域の活性化や広域的課題の解決に向けた土地利用検討を進めるとともに、地権者及び周辺住民等の思いを引き続き丁寧に酌み取る必要があること、返還方針が合意されていない施設及び区域については、引き続き速やかな返還の実現に向けて精力的に取り組むことが必要不可欠であることを記載しています。

そして、5段落目には、本年度の防衛大臣及び外務大臣政務官への要望活動について記載をしています。

最後の段落になりますが、今後も横浜市会として、市内米軍施設の早期全面返還、返還後の跡地利用の促進及び米軍施設とその周辺の安全対策の徹底などを図るため、引き続き国に対して働きかけを行うなど、積

極めかつ継続的に活動していくべきであるとまとめています。

最後に、縦6として、別添資料といたしまして、横浜市内米軍施設に関する要望書を添付いたします。

こちらにつきましては、本年3月に本委員会から各大臣宛てに提出いたしました要望書でございます。

説明は以上でございますが、案文について、委員の皆様へ御意見等がございましたら、お伺いしたいと思います。何かありますでしょうか。

(発言する者なし)

- **山田一誠委員長** 特に御発言がないようですので、本中間報告書案を委員長名をもちまして、議長宛てに提出をいたしたいと思います。御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- **山田一誠委員長** 御異議ないものと認め、そのように決定いたします。

なお、字句等の整理につきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思います。

また、確定した中間報告書については、改めて委員の皆様へ配付をいたしますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の議題は終了いたしました。本日が本構成による最終の委員会になるかと思われまので、当局を代表して樹岡局長より御挨拶がございます。

- **樹岡都市整備局長** それでは、都市整備局を代表しまして、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

山田委員長、白井副委員長、坂本副委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、この1年間、市内米軍施設の返還と跡地利用の取組につきまして、熱心に御議論いただき、非常に貴重な御意見、あるいは御示唆をいただいたこと、改めて御礼申し上げます。

また、3月には大変お忙しい中、横浜市会として防衛省及び外務省へ直接要望活動を行っていただき、誠にありがとうございました。

この1年間を振り返りますと、長年の悲願であった根岸住宅地区の返還日の決定という大きな出来事がありました。このことは、市会と当局が力を合わせ一体となって、長年にわたり国への要望活動等、様々な活動を積み重ねてきた成果であると思っております。

今後も委員の皆様方からの御意見をいただきながら、地域や市民の皆様方とともに、早期全面返還と跡地のまちづくりの促進と、この両面を精力的に取り組んでまいります。

今後とも一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

- **山田一誠委員長** 樹岡局長、ありがとうございました。1年間どうもありがとうございました。

それでは、正副委員長を代表いたしまして、私から一言御挨拶申し上げます。

本委員会では、市内米軍施設の早期全面返還に向けた取組状況、跡地利用について、委員会や視察等を通じて、この1年間精力的な議論を行ってまいりました。

特に本年度は、旧富岡倉庫地区や根岸住宅地区の跡地利用の報告を受け、議論を重ねるとともに、市内米軍施設への視察を行いました。

また、3月12日には、根岸住宅地区の返還スケジュールが示され、より一層跡地利用の検討を進めていく必要があると受け止めております。

このような充実した委員会活動が実施できましたのも、白井・坂本両副委員長をはじめ、委員の皆様へ

様々な御支援、御協力をいただきまして、委員長の職を務め上げることができました。ありがとうございました。

あわせて、当局の皆様方にも多大な御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本構成による議論は、中間報告書の提出をもちまして、ひとまず終了となりますが、今後も本市会として当局とも協力しながら、米軍施設の早期全面返還及び跡地利用の促進に向け、より一層努力をしてみたいと思います。

最後になりますが、御協力をいただきました皆様に重ねて御礼を申し上げて、正副委員長を代表しての御挨拶といたします。

この1年、本当にありがとうございました。



### ◎ 閉会宣告

- 山田一誠委員長 以上で、本日の議題は全て終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 午前10時13分

# 速報版